

～イブニングセミナー東京～



京都大学技術士会 第5回講演会

『インフラ整備をめぐる誤解・曲解・無理解』

日時：平成27年9月2日（水）17:30～19:20

主催：京都大学技術士会 ※講演会終了後同場所で懇親会を実施します

場所：京都大学東京オフィス

（品川インターシティ A棟27F） 下記地図参照

講師

大石 久和（おおishi ひさかず）

一般財団法人 国土技術研究センター国土政策研究所長

昭和45年3月 京都大学大学院工学研究科修士課程修了

昭和45年4月 建設省入省

大臣官房技術審議官、道路局長、技監を歴任

平成16年7月 一般財団法人 国土技術研究センター理事長

平成25年6月 同 国土政策研究所長

平成26年6月 公益社団法人 日本道路協会 会長

（現在に至る）

平成27年 春の叙勲・瑞宝重光章 受章

また、平成20年10月より、本学、京都大学大学院経営管理研究部客員教授、平成22年4月より、同特命教授を歴任

主な著書に、『国土学事始め』、『国土と日本人 災害大国の生き方』、『現在知vol.2 日本とは何か』、『築土構木の思想』他



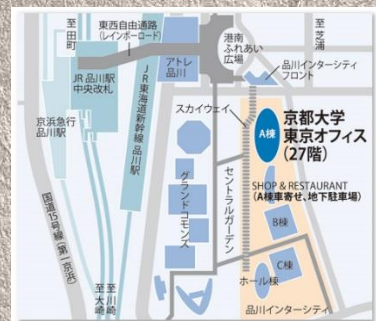
講演内容：

山地が七割を占め、地震や台風にはしばしば見舞われる日本。この試練の多い土地に住みつけた日本人は、古来、道を通し、川筋を変え、営々と自然に働きかけてきた。私たちが見る風景は、自然と人が共に造り上げたものである。国土に働きかけることによって、はじめて国土は恵みを返してくれる。いかに国土に働きかけていくのか。

「公」による国土への働きかけは、公共事業や社会資本整備という言葉で表されるが、これからは過去から現在、未来へと続く流れの中と、世界の国々における社会資本整備、インフラの蓄積状況、そうしたインフラの品質との比較の中で議論をしていく必要がある。

公共事業という単年度の経済の言葉では、こういった時間の流れやあるいは世界の空間の中でみるということがどうしてもできない。このような視点から、公共事業という枠を越えて国土への働きかけについて大局的にお話をさせていただきます。

開催場所：



参加費：2000円

申込先：kyoto-u.pe@titan.ocn.ne.jp